



今年の北海道王者は誰の手に？

全道クラブチャンピオンズゴルフトーナメント

観戦記

全道クラブチャンピオンズゴルフトーナメントとは？
北の大地のNo.1決定戦

ゴルフ場数全国1位、多くの有名プロゴルファーを輩出してきた、北の大地・北海道。その北海道で年に一度、トップ・オブ・トップを決定する大会が開催されていることはあまり知られていません。その名も「全道クラブチャンピオンズゴルフトーナメント」（通称・チャンチャン）。1983年より開催されており、今年で第41回となる歴史ある大会です。なんと、その大会の主催を、本年よりパリュウゴルフが務めさせていただくことになりました！

毎年プロ顔負けの熱い戦いが繰り広げられるのですが、というも、出場資格が与えられるのは当年の各クラブチャンピオン、過去優勝者、北海道オープン上位者（アマチュア2位タイまで）のみ。その狭き門をくぐり抜けた精鋭たちによる名譽と威信がかかった勝負なのです。それらも、地元は大盛り上がりです。応援に駆け付けたゴルフ関係者やメンバーさんたちも大興奮！

季節外れのほかほか日和となった10月12日。新千歳空港からほど近い『札幌リージェントゴルフ倶楽部 旧コース』は、広大な北海道全土より集まった選手たちで早朝から大賑わいです。

スタート前に、皆さんからお話をうかがいました。ゴルフを始めて4年で所属コースのチャンピオンに上り詰めたという強者や、コロナ禍で団体競技ができなくなり、やむを得ずゴルフを始めた方、今大会に出場することを目標に、ひたすら頑張ってきた方など、大会に対する想いもゴルフ歴も年齢もさまざま。中にはゴルフ仲間同士という方もいて、クラブハウスは意外なまでに和気あいあいとした雰囲気包まれていました。

しかし、スタートが近づいてくるにつれて、57名の出場選手の表情にも徐々に緊張感が。さあプレッシャーに打ち勝ち、北海道のクラブチャンピオンの頂点に立つのは誰なのか？結果はいかに！



第40回 運転スポーツ杯 全道クラブチャンピオンズゴルフトーナメント
2022年10月13日(水)14日(木) 札幌リージェントゴルフ倶楽部 (旧コース) 9850ヤード、4-72

1st Round (13日)

No.1 Tee	No.10 Tee	No.1 Tee	No.10 Tee
1 小笠原 一郎 (小樽カントリー倶楽部) 75	10 橋立 孝史 (札幌リージェントゴルフ倶楽部) 81	1 小笠原 一郎 (小樽カントリー倶楽部) 75	10 橋立 孝史 (札幌リージェントゴルフ倶楽部) 81
2 児玉 有史 (石狩平原カントリークラブ) 76	11 高島 裕一郎 (千歳空港カントリークラブ) 80	2 児玉 有史 (石狩平原カントリークラブ) 76	11 高島 裕一郎 (千歳空港カントリークラブ) 80
3 工藤 大之進 (第39回、40回優勝者) 78	12 井上 魁斗 (滝のカントリークラブ) 80	3 工藤 大之進 (第39回、40回優勝者) 78	12 井上 魁斗 (滝のカントリークラブ) 80
4 橋立 孝史 (札幌リージェントゴルフ倶楽部) 78	13 鈴木 秀成 (千歳空港カントリークラブ) 80	4 橋立 孝史 (札幌リージェントゴルフ倶楽部) 78	13 鈴木 秀成 (千歳空港カントリークラブ) 80
5 橋立 孝史 (札幌リージェントゴルフ倶楽部) 78	14 橋立 孝史 (札幌リージェントゴルフ倶楽部) 78	5 橋立 孝史 (札幌リージェントゴルフ倶楽部) 78	14 橋立 孝史 (札幌リージェントゴルフ倶楽部) 78
6 橋立 孝史 (札幌リージェントゴルフ倶楽部) 78	15 橋立 孝史 (札幌リージェントゴルフ倶楽部) 78	6 橋立 孝史 (札幌リージェントゴルフ倶楽部) 78	15 橋立 孝史 (札幌リージェントゴルフ倶楽部) 78
7 橋立 孝史 (札幌リージェントゴルフ倶楽部) 78	16 橋立 孝史 (札幌リージェントゴルフ倶楽部) 78	7 橋立 孝史 (札幌リージェントゴルフ倶楽部) 78	16 橋立 孝史 (札幌リージェントゴルフ倶楽部) 78
8 橋立 孝史 (札幌リージェントゴルフ倶楽部) 78	17 橋立 孝史 (札幌リージェントゴルフ倶楽部) 78	8 橋立 孝史 (札幌リージェントゴルフ倶楽部) 78	17 橋立 孝史 (札幌リージェントゴルフ倶楽部) 78
9 橋立 孝史 (札幌リージェントゴルフ倶楽部) 78	18 橋立 孝史 (札幌リージェントゴルフ倶楽部) 78	9 橋立 孝史 (札幌リージェントゴルフ倶楽部) 78	18 橋立 孝史 (札幌リージェントゴルフ倶楽部) 78

第41回バリュウゴルフ杯 全道クラブチャンピオンズゴルフトーナメント
2022年10月13日(水)14日(木) 札幌リージェントゴルフ倶楽部 (旧コース) 9850ヤード、4-72

選手の出場を待たせながら緊張感が増してくる

第41回バリュウゴルフ杯 全道クラブチャンピオンズゴルフトーナメント
1st Round

順位	氏名	所属クラブ	TOTAL	1日目	2日目
第1位	小笠原 一郎	小樽カントリー倶楽部	153	75	78
第2位	児玉 有史	石狩平原カントリークラブ	154	79	75
第3位	工藤 大之進	第39回、40回優勝者	156	80	76
第3位	橋立 孝史	札幌リージェントゴルフ倶楽部	156	78	78
第3位	橋立 孝史	札幌リージェントゴルフ倶楽部	156	78	78
第3位	井上 魁斗	札幌リージェントゴルフ倶楽部	156	75	81
第6位	高島 裕一郎	滝のカントリークラブ	157	80	77
第6位	鈴木 秀成	千歳空港カントリークラブ	157	77	80

9度目出場での悲願の初V

完全優勝

小樽カントリー倶楽部

小笠原

“夢”へのトビラを
開けるビッグドライブ



快晴の空を切り裂くファーストショット

そろそろ勝てるかな
初日トップスタートを切った小笠原一郎が、そのまま逃げ切り、悲願だった「完全優勝」を最高の形で達成した。「ずっと勝ちたかった」「やっと」という感じ「です。」

ここまでの道のりに少し時間がかかった。挑戦すること、苦節8年。9度目の挑戦でようやく手にしたチャンピオントロフィーだ。栄冠獲得のために、努力は惜しまなかった。まず着手したのは肉体的改造。オフシーズンは週に3日、シーズインしてからも週に2日はトレーニングジムに通い、いじめ抜いた。その結果、30ヤード以上の飛距離アップに成功した。

もちろん、技術の鍛錬も手を抜かない。トラックマンによる弾道



スタート前のパッティング練習に余念がない選手たち



競技委員会からの説明を受けながら緊張感が増してくる

解析で理想のスイングを求め続けた。技術と身体が刷新されると、気持ちにも余裕ができたという。「2日目も緊張することはなかった。そろそろ勝てるかな」と思っていた(笑)というコメントの通り、2日間を駆け抜けた。「最終日にスコアを伸ばせる選手になりたい、今後に控える全国大会

「優勝のコンディション」
大会中、選手たちが声を揃えて語ったのは、コースコンディション。会場の札幌リージェントゴルフ倶楽部が最高の舞台を作り上げた。グリーンスピードは初日が11、2日目が12。コンパクションは23。今年はパンパシフィック大学ゴルフの会場となっており、まさに世界基準。このコンディションでプレーできるのが、チャンピオンだと選手も唸っていた。

最終成績表

全道クラブチャンピオンズゴルフトーナメント 第41回大会

順位	氏名	所属クラブ	TOTAL	1日目	2日目
第1位	小笠原 一郎	小樽カントリー倶楽部	153	75	78
第2位	児玉 有史	石狩平原カントリークラブ	154	79	75
第3位	工藤 大之進	第39回、40回優勝者	156	80	76
第3位	橋立 孝史	札幌リージェントゴルフ倶楽部	156	78	78
第3位	橋立 孝史	札幌リージェントゴルフ倶楽部	156	78	78
第3位	井上 魁斗	札幌リージェントゴルフ倶楽部	156	75	81
第6位	高島 裕一郎	滝のカントリークラブ	157	80	77
第6位	鈴木 秀成	千歳空港カントリークラブ	157	77	80



▲数々の熱戦を見守ってきたティーイングエリアに設置された大会ボード
▲絶好のコンディションの中大会がスタート。半袖でプレーできるほどの陽気



優勝カップを手にした小笠原は満面の笑み